



面会規制の緩和について

患者ニーズと実態調査からの考察

特定非営利活動法人 ヘルスケア・リレーションズ

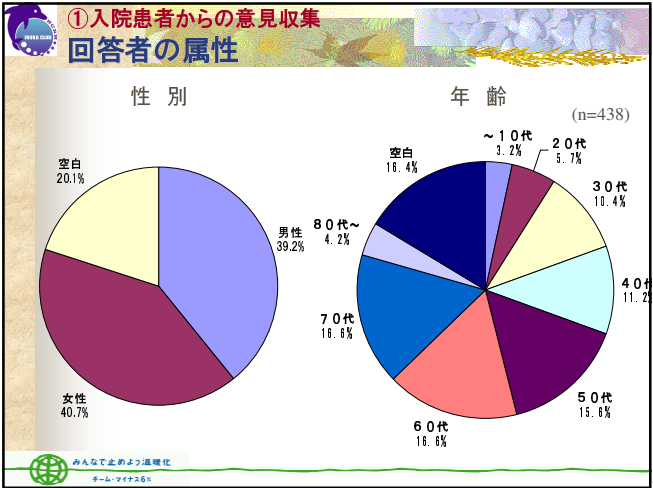
○瀬戸 加奈子 (東京大学先端科学技術研究センター)

和田 ちひろ (東京大学先端科学技術研究センター)

瀬戸 僚馬 (杏林大学医学部付属病院)

安達 暁子 (財団法人医療情報システム開発センター)

武藤 正樹 (国立病院機構長野病院)





はじめに

- 病院は、患者の安全と治療の有効性を確保する観点から、院内の生活についてルールを定めている。
- 一方、そのルールは患者にとって不自由または不本意に感じるものでもあるので、その根拠や妥当性を示し、患者が納得できるような説明を行うことが必要である。
- そこで、院内ルールの一つである、面会時間、面会場所などの規制について、患者および病院の双方に調査を行ったので報告する。



①入院患者からの意見収集

面会時間に関する意見

- 「面会の時間の限定をやめてほしい」
- 「面会時間を延長してほしい」
→面会時間の延長
- 「面会時間外に来られる方がたくさんいてしんどい時に眠れない」
→長時間にわたる面会による弊害
- 面会時間の伸縮それぞれの意見があり、患者ニーズは必ずしも一定していない。



研究方法

① 入院患者からの意見収集 (2003)

- 対象病院:任意15病院
- 対象患者:1ヶ月間の入院患者
- 回答者数:438人

入院患者さんの考えるこんな商品・サービスあったらいいな「衣」「食」「住」についての入院患者の意見の収集
→自由記載から面会に関する事項を抽出

② 病院内での患者向け規則に関する実態調査 (2004)

- 対象病院:300床以上の病院のうち600病院を無作為抽出
- 回答病院数:70 (回収率:11.7%)

消灯時間や面会制限など病院の規則の実態を質問紙調査
→面会時間および面会制限に関する回答を集計



①入院患者からの意見収集

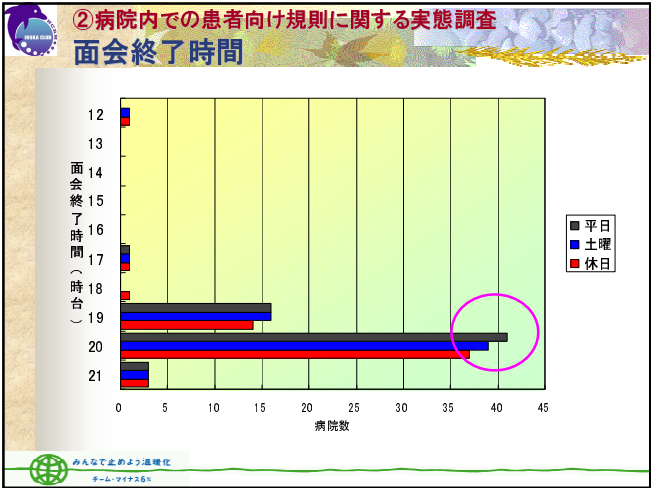
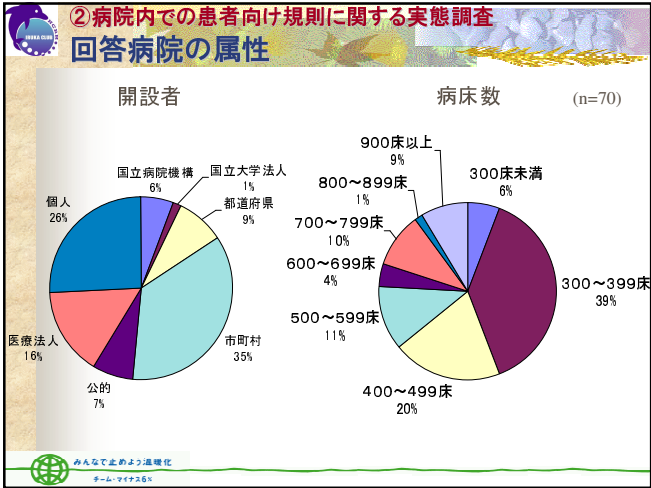
面会規制に関する意見

①面会する場所について

- お見舞いに来られた方とゆっくり話せる談話室が欲しい。
- 廊下の隅の机・いすでなく、壁がある面会室・談話室が欲しい。
- 面会の場所規制をやめてほしい。
- 面会は病室ではなく、必ずロビーで面会するように決めたいと思う。
- 見舞い客の方は室外へ行く様にして欲しい。
→患者本人・同室者とも、病室以外での面会を希望している。

②その他

- 見舞いに来た人たちが大きな声で話すのでうるさい。
- 他人のことを考えず面会の人が高声で話す。
→同室者にとって、面会は騒音と感ずることがある。



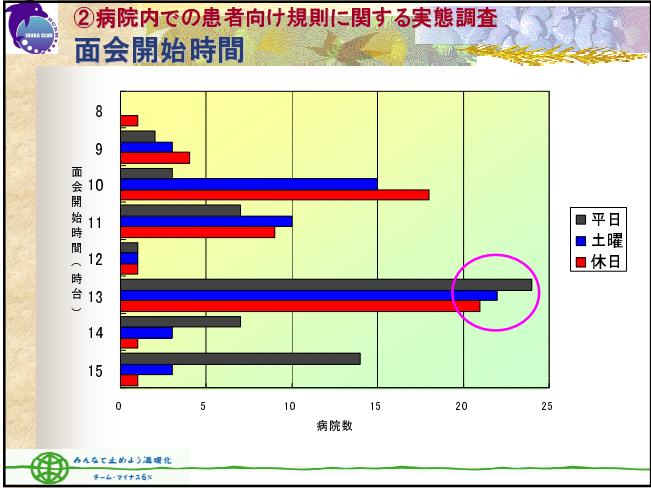
②病院内での患者向け規則に関する実態調査
面会制限・面会滞在可能時間

(n=70)

	制限有り	面会滞在時間
一般病棟：大部屋	89.9%	6時間18分
一般病棟：個室	89.4%	6時間12分
小児病棟	95.7%	6時間18分
新生児室	93.0%	5時間36分
ICU, CCU	86.5%	3時間36分

■ その他の意見
面会時間は制限しているが、全く守られていない。
面会時間はフリーでも良いのではないかな。

- ②病院内での患者向け規則に関する実態調査
面会制限に関する意見
- ① 面会する場所について
■ 談話室など患者及び家族のスペースが問題。
 - ② 面会する経路について
■ 夜間の家族などの出入り口について。(認知症高齢者の問題があるため。)
■ 救急外来の出入口と面会人の出入口が同じであるため診療時間外の人の出入りがチェックしにくい。
→ 病院施設上の理由から、面会場所の制限を設けている。
 - ③ その他
■ 回診や処置の際に注意しないとプライバシーが保てない。



- まとめ
- 面会時間および面会規制について、患者および病院の双方に調査を行った。
 - 面会時間に関しては伸縮それぞれの意見があり、患者ニーズは必ずしも一定していなかった。現状では、面会開始時刻は13時台、面会終了時刻は20時台としている病院が最も多かった。
 - また、同室者にとって面会は騒音と感ずることがあることから、病室以外での面会場所の確保を求める意見があった。しかし、病院からはその場所や適切な面会経路を確保することが困難との意見もあった。
 - 面会に関する患者のニーズを満たすには、面会時間の変更を行うよりも、病院施設の調整を行うことが必要であることが示唆された。